

第 1 章 . プログラム策定の趣旨

1 - 1 . 背景

20 世紀において、大量生産・大量消費・大量廃棄といった物質的に恵まれた生活を享受してきた。その反面、地球温暖化が進行するとともに、化石燃料等の有限な資源の枯渇が喫緊の課題となっており、未来にわたり持続可能な社会を形成する必要がある。

そのため、本県においては、1997 年 3 月に「ひょうご新エネルギービジョン」を策定し、新エネルギーの導入促進を図っているところであるが、国の「長期エネルギー需給見通し」の見直しや「新兵庫県地球温暖化防止推進計画」の策定を踏まえて、ビジョンを見直し、省エネルギーや新エネルギーの具体的な目標を設定するとともに、県民・事業者の省エネルギー・新エネルギーに係る行動指針や、本県における省エネルギー対策と新エネルギー導入に関する将来的方向性を示し、エネルギー面での循環型社会の形成に向けた「グリーンエネルギー推進プログラム」を策定するものである。

1 - 2 . 策定の目的

本プログラムは、兵庫県の地域特性等を踏まえ、地球温暖化をはじめとする地球環境問題や防災に配慮したエネルギー確保に向けて、グリーンエネルギーの導入の促進を図るために策定したもので、ねらいは以下の 4 点である。

- 1) 地域からの地球温暖化防止
- 2) エネルギーの多様化と安定供給の確保
- 3) 防災上の観点にたった自立型エネルギーの導入
- 4) グリーンエネルギー関連の新産業の創造と雇用の創出

1 - 3 . 位置づけ

「新兵庫県地球温暖化防止推進計画」に基づく削減目標を達成するため、国の「長期エネルギー需給見通し」を踏まえた、本県におけるグリーンエネルギー導入促進プログラムとなる。

1 - 4 . 対象期間

対象期間は、「新兵庫県地球温暖化防止推進計画」及び国の「長期エネルギー需給見通し」の目標年度との整合を図り、2010 年度（平成 22 年度）までとする。

1 - 5 . 定義

グリーンエネルギーとは、エネルギー効率の高い家電製品等の使用、製造工程におけるエネルギー使用の合理化等の省エネルギー対策と、太陽光発電、バイオマス発電の導入等の新エネルギー対策を併せた総称とする。